

近況報告

株式会社 タツミ

代表取締役社長

山本千秋

JASDAQ

報告内容

1. ‘10年3月期 経営実績(第59期)
2. ‘11年3月期 利益計画(第60期)
3. ‘11年3月期～中期ローリングの考え方

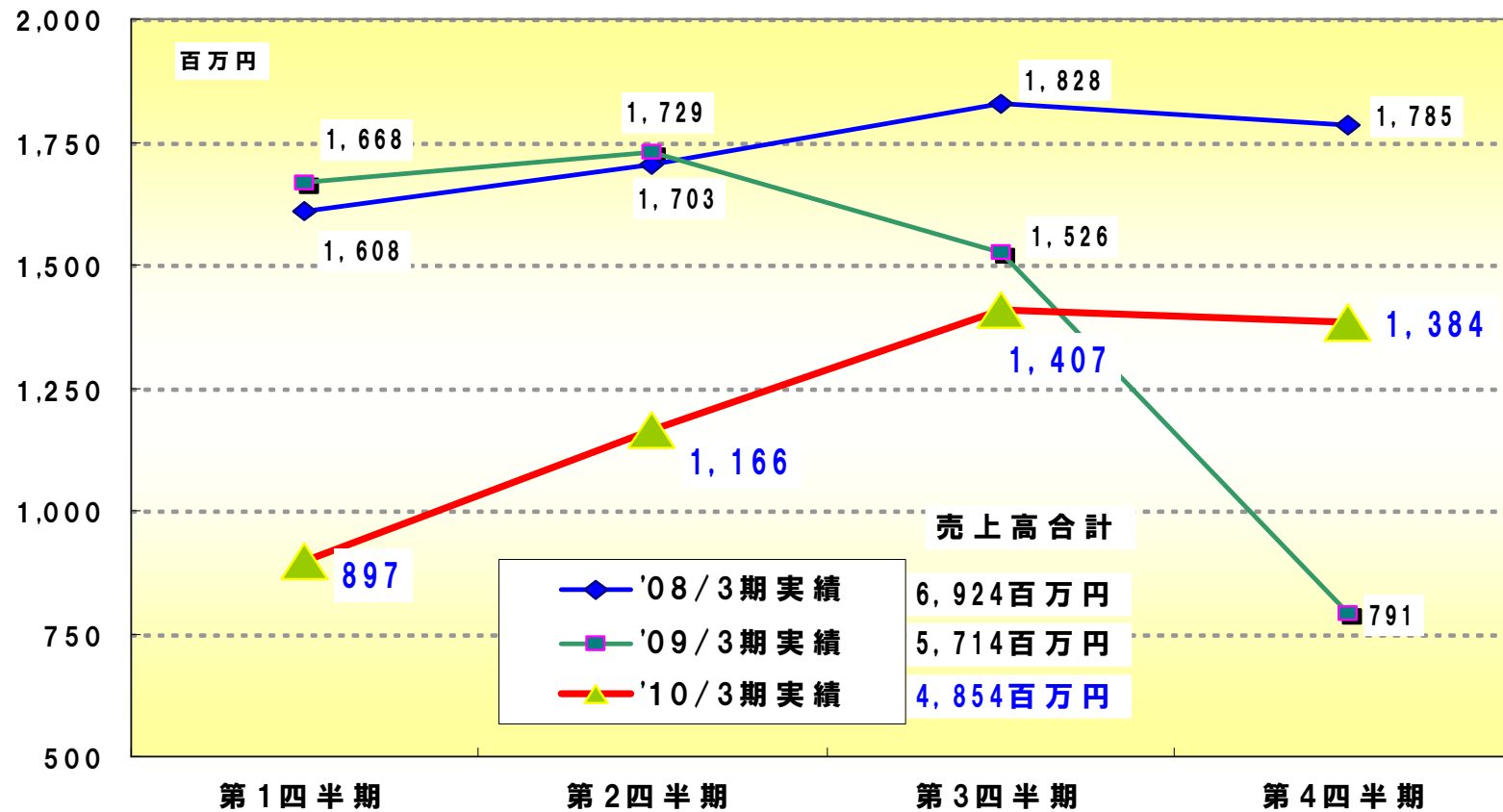
1. ‘10年3月期 経営実績

(第59期)

売上高_四半期毎の推移

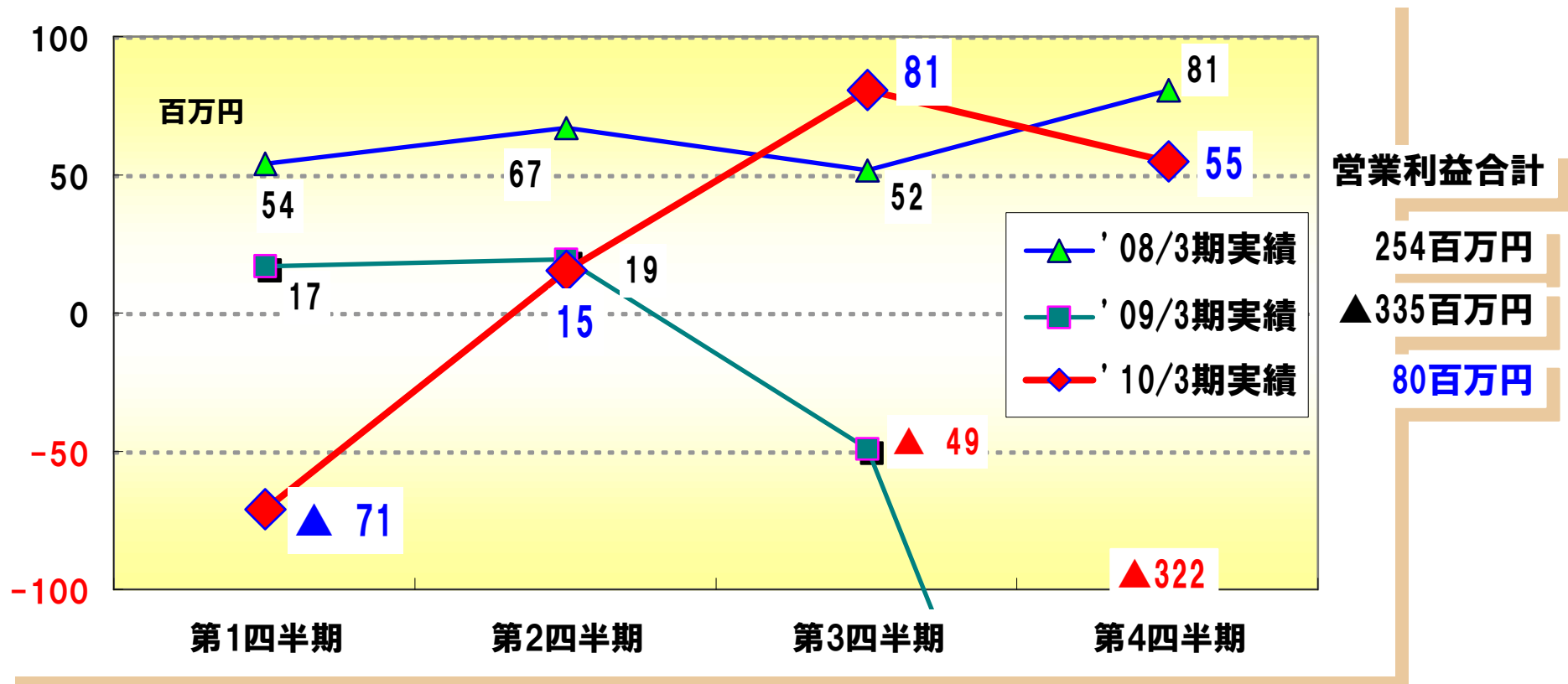
59期 ('10/3期) 4,854百万円

⇒ '09/3期比▲15%、'08/3期比▲30%



営業利益_四半期毎の推移

59期 ('10/3期) 80百万円
 ⇒ '09/3期比 +415百万円、'08/3期比▲174百万円



収益構造の変化

改善目標770百万円

⇒改善実績650百万円

(達成率84%)

- **営業利益は、
社内計画値80百万円を
クリアーすることができた。**

'10/3期 新製品立上
(11車種・49機種・新規顧客1社)
売上高126百万円

トピックス

お客様からの表彰

【'10/3期】

株式会社 ミツバ 車両拡販貢献賞



曙ブレーキ工業 株式会社 ・VA優良賞 ・品質努力賞

栃木・茨城 合同技術展示商談会

【'10/3期】

日 時：2010年5月19日

場 所：本田技術研究所 グローバルプラザ

出展会社数：77社

来場者：1,200名

2. '11年3月期 利益計画

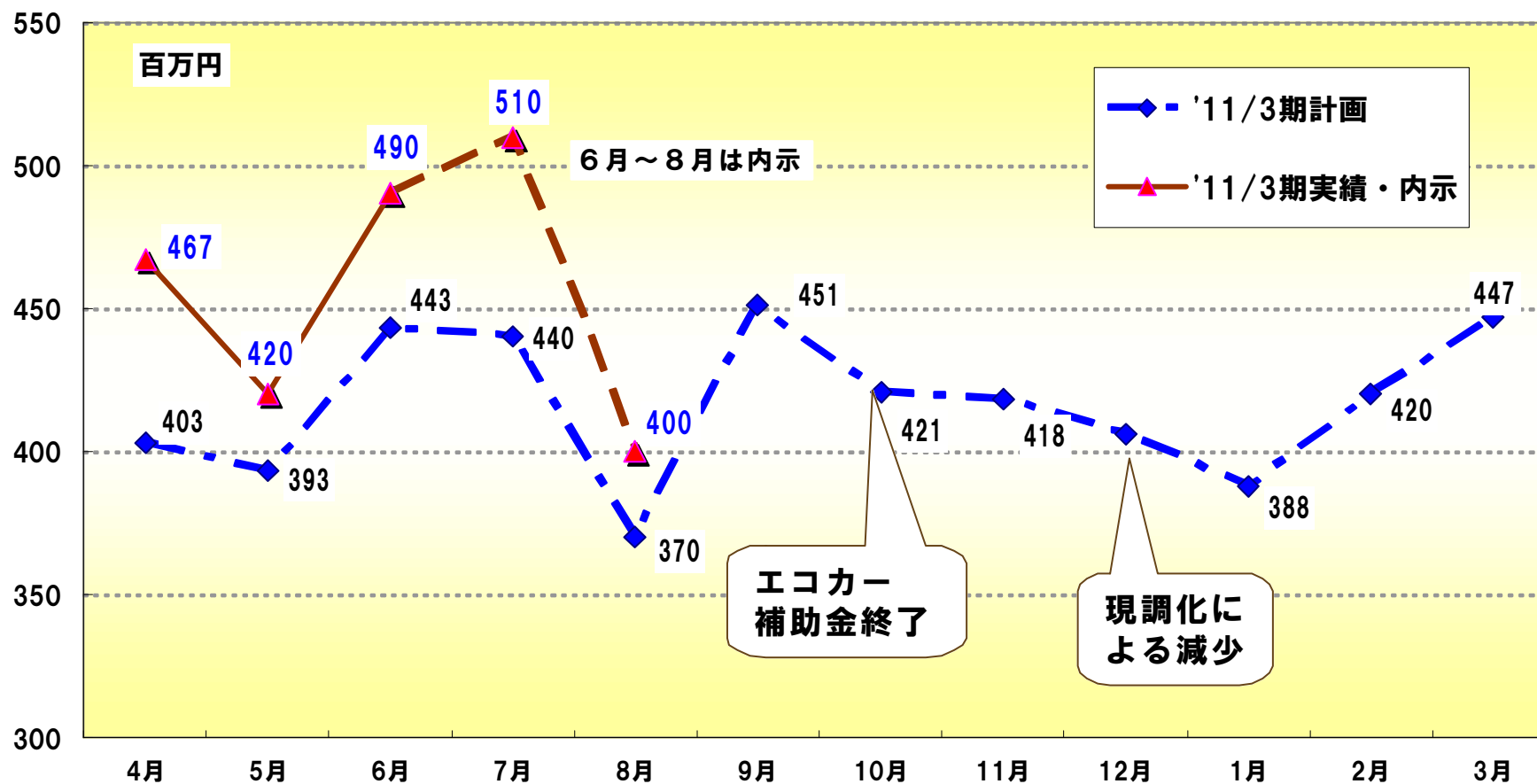
(第60期)

売上高

【'11/3期】

60期目標 50億円・・・'10/3期比+3% ・'08/3期比▲28%

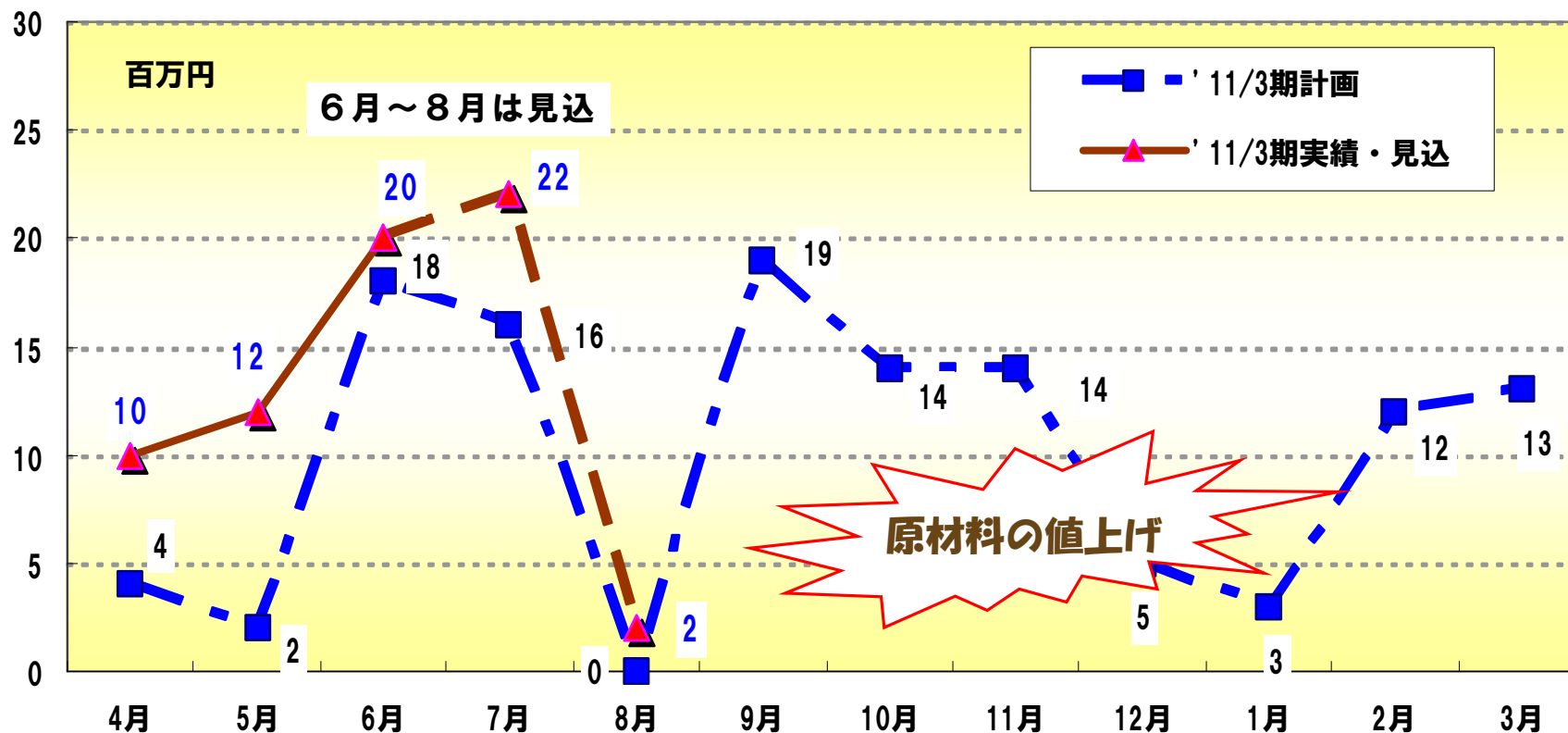
6月までの計画に対し11%増で推移(ピーク時の83%)



営業利益

60期目標 120百万円 (売上比率2.4%)
 …'10/3期比+40百万円・'08/3期比▲134百万円

6月までの計画 (売上比率) 2% → 3%と順調に推移



収益構造の変化

営業利益120百万円
(売上比率2.4%)の達成のため、
改善目標507百万円
(原価改善407+売価改善100)
を設定

新製品立上計画

- ’10/4月～新製品立上計画
（16車種・55機種）
- ’11/3期売上276百万円

**3. ‘11年3月期～
中期ローリングの考え方**

自動車（タツミ）事業を取り巻く環境

- ①一時的、危機状況は脱したものの各国需要喚起策の変動リスク
⇒ 日本のエコ支援策 9月終了後の変動リスク
- ②新興国市場の想定以上の急進等、自動車グローバルマーケットの変化
 - ・日本：横ばい
 - ・米欧：能力調整からの復調
 - ・アジア他新興国：続伸
- ③地球環境への取り組み
 - ・燃費の良い車
 - ・安い車
 - ・電動化・グリーン化
- ④円高継続による部品輸出 ⇒ 現調化切替え促進



タツミを取り巻く環境が大きく変化しているため、
中期の方針・具体的計画を大幅に見直す（本年12月）

タツミの中期での方向性

**緊急事態対応で身につけたコスト意識を更に醸成し、
革新的原価低減の継続と海外市場展開の布石を打つ**

【日本】

- ①売上げに見合った筋肉質な身体作り（固定費）
 - ・コスト競争力向上によるシェアupと新規顧客開発
 - ・海外現調化をにらんだ国内事業の見直し
- ②第7次中期で痛んだ財務の復活（利益剰余金）
- ③生産の仕組の進化による革命的在庫削減（キャッシュ）
- ④技術、物造りの発信基地としての基盤整備（人作り）
- ⑤ミツバとのアライアンスによる事業拡大（グループ戦略）



タツミの中期での方向性

【北米】

- ・ 現調化テーマの促進による規模の拡大と利益確保

【アジア】

- ・ 技術提携をベースにビジネス拡大の布石を打つ



次期利益予測

(単位：百万円)

	'08/3期実績	'09/3期実績	'10/3期実績	'11/3期予測	'12/3期予測	'13/3期予測
売上高	6,924	5,714	4,854	5,000	5,000	5,300
営業利益	254	-335	80	120		
(比率%)	(3.7%)	(-%)	(1.6%)	(2.4%)	→	→
利益剰余金	1,220	799	928	968		

← 第7次中期 →

利益剰余金推移

**確実に利益が出せる体質の構築
とともに、次期中期中に、利益
剰余金を12億円に戻す。**

財務体質強化策

- ①設備投資の抑制
- ②借入金の返済
- ③棚卸資産の削減

財務体質強化

NO1. 設備投資

**減価償却費の80%以内の
設備投資額に抑制して行く。
⇒ 内部資金でまかなう。**

財務体質強化

NO2. 借入金

**返済を促進し、
次期中期最終年度は、
有利子負債依存度を10%以下に
する。**

財務体質強化

N03. 棚卸資産

**次期中期最終年度は、
在庫金額・・・'10/3期比 ▲50%
在庫回転日数
・・・10日以下にする。**

自己資本比率推移

**“財務体質強化策”
の実施により確実に自己資本の
充実を図り、次期中期中中に50%
を越える。**

ご清聴ありがとうございました。

本日の資料は弊社ホームページに掲載いたします。

本資料に記載されている当社の業績の予想等は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因要素によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社 タ ツ ミ

業務部

TEL : 0284 - 71 - 3131